明治四十五年一月一日發行（毎月一回一日發行）
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第九巻第一號

十二の門は十二の眞珠なり。一の眞珠にて一の門を造り、城の衢は澄徹る玻璃の如き純金なり。われ城の中に殿あるを見ず、蓋主たる全能の神、及び羔その殿なれば也。また城に日月の照すことを需ず、蓋神の榮光これを照らし、且羔城の月燈なれば也。萬國の民この光に藉て行まん。地の諸王おのれの榮と尊貴とを以て此城に來らん。その門は終日とぢず、此に夜ある事なし。萬の民己の榮と尊貴とを以て此城に來らん。凡て潔らざる者と憎べき行を爲すもの或は謊をいふ者は、必ず此に入ることを得ず。唯羔の生命の書に錄されたる者のみ入るなり（默示錄二一〇二一—二七）

日本基督教女子青年會發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子

第九巻第一號

目次

◎新年先づ考ふべき事(一)……………小橋三四子
◎聖オーガスチンと其の母(五)……………小此木松子
　……△談叢▽……
◎汝の若き日に於て救主を知れ(六)……………河井道子
◎女子問題(一三)……………法學博士 鵜澤總明
◎聖書研究に關する注意(一八)……………柏井園
　……△講話▽……
◎新らしき生命(二一)……………ミス、マグドナルド
　——△文苑▽……
◎岐路(二五)……………ペグビイ作 風江譯
　——△訪問▽……
◎隱れたる愛の働き(二七)……………仁科節子

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督敎女子靑年會中央委員が發行する雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢、一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督敎女子靑年會は女子の衞生、社交、智識、靈性上の發達を圖るための團體也。

一　日本基督敎女子靑年會中央委員左の如し。

委員長　井深花子
副委員長　岡見惠子
記錄書記　三谷民子
會計　井上友子
萬國基督敎女子靑年會同盟委員
萬國學生基督敎同盟會委員　河井道子

東京在住委員
エ、ビーウエスト　宮川すみ子
平野濱子　鈴木歌子
中島小春　サラ、エリス
フィイシャー　小此木まつ子

地方在住委員
大阪　ケー、ツリスツラム　京都　佐伯小米
京都　デントン　名古屋　ウインウイルソン
廣島　エヌ、ビー、ゲインス　大阪　荒木幸子
函館　エム、ブラウンロー

日本基督敎女子靑年會幹事　エー、シー、マクドナルド
同副幹事　エム、エル、マセウ
ジイ、アアル、アトネ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖オーガスティンと其の母

本文第五頁參照

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子　第九卷第一號（明治四十五年一月一日）

新年先づ考ふべき事

小橋三四子

△暗きより光りに低きより高きに

新年といへば何となく新らしい心になれるのが、何より尊い事で御座います。この新らしい心を以て、私共の上にさし迫つて來て居るいろ／＼の問題を深く考へて、暗きより光りに、低きより高きに進む方向を定むる事は、この年を最も意義多く用ひんとするものゝ、先づ取るべき順序で御座いませう。なほ私共は自分の事斗り考へて、能事終れりとなさず、更らに不幸にして考ふる力もなく迷ふて居る人々の心に立ち入り、温き心を以て共にその問題を解かうと務めたいものであります。マッチ一本の光りも、暗夜に道を探ぬる人の爲めには、限りなき慰安を與ふるものであります。主も「誠の至微き一を行ひ、且つ人に敎ふる者は、天國に於て大なる者と謂はるべし」と約束し給ひし如く、そはまたこの上なき大なる仕事ではありますまいか。

△自覺より來る悲哀

婦人の自覺と共に常に謳はるゝイプセンの人形の家に現はれしノラを見て、我が國婦人中の卓見家と云はるゝ人が「ノラはなぜあの場合踏み止つて夫を感化しなかつたでせう」と、易々と云はるゝのを聞きました。然し今迄我が仕へし理想の破れし刹那人を感化しやうといふ猶豫がありませうか。やはりノラの如く夫も最愛の子女をも省る暇なく、先づわが新らたに生きんとする道を求むるに急なるが當然でありませう。人形の家が劇なるだけ幾分濃厚にその刹那の感じが現はれて居るかも知れませぬが、これに似よつた經驗は多くの人々の乏しからず持つ所で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありませう。殊に我が國婦人の如く、全然家庭的に教育せられたる者は、夫を天と思ひ、家を祭壇の如く心得て居らるゝ間は無事であります。一朝その理想破れて天は動ぎ、祭壇焼かるゝ時、即ち夫や家庭を失ひ、或は精神上に之れ等の關係破れたる時、自分も亦一個の人間としての生活、なかるべからざるを思ふて、しかも多年の因襲に作られたる頭は動かず、手は之れに伴はざる時、ヒステリーてふ忌はしき病となりて不愉快なる時日を送る者尠なからず、その病は忌はし、その心事を汲めば、氣の毒の至りと云はなければならぬ。然れどもこれをしも自覺の悲哀と云はず、病みては非戰闘員なれば也。もし女子が眞に甲斐ある生活とは何ぞといふ人生の大問題を提げ、之れを探ねて雄々しくも進み出てんか、社會の事實に當つて、忽ちわが智識の空虚を知り、その能力の不足を明らさまに見る場合は、淋しきものゝ最も淋しきもの、悲しきものゝ最も悲しきものでありませう。この苦しき境遇の下よりさま〴〵の注文が出ませう。それこそは婦人問題であります。曰はく女子高等教育の必要、曰はく女子の職業問題、曰はく女子の權力保護問題、曰はく何々と、然し目下の日本婦人には何が一番不足し、またその地位を高めるには何が一番大切でありませう。

△如何にして婦人の位置を高むべきか

この頃女子のさる高等女子専門學校の學生に向つて、如何にして婦人の位置を高むべきかとの問ひを出した處が四十七名の答案者中、精神及人格の修養によるといふのが十一名で、これが最も多數を占めて居つた。これは誠に至當な答へであると思ふ。此處に如何程立派な職業が婦人の爲めに授けられても、またいかに最高の智識が授けられても、わが生活の指針なる精神、人格の無き人の前には、何の意義をもなさず、大學教授も電話交換手と同じく、只生活の爲めに働らく機械的のものとなつて終うてありませう。メリーライオン女史も、ウヰラード孃もナイチンゲール孃も、その働らきの始めに於ては、決して名譽ある職業ではなかつた、否何れも社會からは物の數ともせられなかつた極めて榮えなき仕事であつた。罪の印の十字架はキリストによつて愛の印となりし如く、我れ我れの職業もその執る人の精神、人格如何によりて價値が定まるのであります。現今教育ある女子の間に職業難が漸くに稱へらるゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に至りしも、職業が玉の輿を以て迎へに來るものと思ひ誤つて居る爲めてはなからうか、社會を見てなさねばならぬ事は實に多い。その必要に赴いて、少しても社會の進歩、人類の向上の爲めに力を捧げんとする高き大なる精神が缺けて居るのではなからうか。人間の地位は人が與ふるものではない、人間として高尙なる精神を持して、働らくもの、即ち、其處にいと高き地位が作らるゝのてはありますまいか。然らばその高き大なる精神は何處に學ばなくてはなりますまいか。

△世界共通の德義を探ねよ

日本は武力に於て一等國に列したりとも、なほ歐米の基督教國からは、被傳道國の一つに數へられて多數の宣教師を送られ、財力を貢がれて居る。わが國には武士道あり、神道あり、儒教あり、佛教あり、敢へて基督教の傳道を須つの要なしと云ふかも知れぬ。然しこれ等の精神が世界的國民をよく支配する事が出來ませうか。英國の尊いのは、その自尊の念や、保守的精神にあらずして、家庭と紳士といふ何處の世界に移しても、人の喜ぶ温く好もしき精神てある。米國の偉大なるは、その侵略的精神にあらずして、人間の自由を愛し、舊き束縛を脱して、最高の理想を打建てんと試むる處にある。日本も亦武士道あるが故に神道あるが故に尊きにあらずして、偶々世界的國民たるの資格に相當したる精華の、我が固有のこれ等の精神の中に含まれたるものあるを以て尊しとするのである。われ等はもはや日本人同士の約束を以て善惡を定めることは許されない、世界の國民と共通なる德義の上に、人間として最高の道を尋ねて進まなくてはならぬ。こゝに於てか世界の有力なる國民の間に、絕えざる生命を以て動きつゝある基督教の精神の下に、先づ謙遜に膝づいて學ばん事を欲する。

△審き門より入れよ

殆ど無宗教なる日本の現時には、一方では所謂固定したる狹隘なる宗教より來る弊害はないかも知れませぬ。然しまた宗教の觀念は極めて不明瞭てあります。時によつては佛もめ拜ば、孔子も祭り、祈禱もすれば、祝詞もあげるといふ風てある。かのゼームス敎授がプラグマティズムといふ一種の學說の中に說かれた樣に、「我々は兩側に多くの部屋のある廊下を通るのてある。凡ての善い事は、何れの處から

も取つて以て我が精神修養の資となさなければならぬ」といふ意味の言葉を云つて居る。この態度は日本の現今の人には最も都合よきものであらう。然し人間は極めて弱く、力なきものである。狭き宗教に束縛せられないやうにと希ひつゝ、いつしか無宗教の状態に陥るのである。基督敎といふ宗教を出でゝ、束縛なきその精神にのみ生きんと試みた人々にして墮落しないものが幾人ありませうか。或場合旗色の明らかでないのは、世に處して行く上には、大層便利な事がありませう、然しそれは所謂世俗に媚びた態度で、その瞬間丈けでもわが主義を失ひつゝある人であります。この頃私は融通の利くのは墮落の始めてあると、つく〴〵と感じた時、「かの窄き門より入れよ、沈淪に至る路は濶く、その門は大なり」「凡て潔らざる者と憎むべき行を爲もの、或は誑をいふ者は、必ず此に入ことを得ず、唯羔の生命の書に錄されたる者のみ入なり」てふ聖句をいかに意味深く讀んだ事でありましたらう。われ等は不純のものを多く交へたる廣き主義よりも、純粹なる狭き主義を抱かん事を希ふ、廣き主義を誇つて何の主義をも持つことを得ぬ弱き人間よりも、基督敎主義を深く知つて、その主義を身に行はんことの、いかにわが生活の向上を計る上に大切であるかを思ふ。

△與へてなほ餘りある力

婦人がこれより世に出でゝ、その位置を高め、人らしい生活をする迄には、極めて多くの困難に遭遇しなくてはならぬ。わが内には實力の足らぬといふ弱味あり、その弱き者は只一人にて知らぬ道を旅すると等しく、いまだ婦人同志の同情も乏しき、極めて冷たき社會を辿つて行かなくてはならぬ。その中に立つて確乎たる主義を貫いて行くには、どうしても全能の神と共に歩み、其處より絶えざる慰安と力とを得て行かなくてはなりません。歐米の婦人が遥かに本國を去り、野蠻、半開の國民の間に、一生を捧げて その人々の心を少しつゝでも啓いて行かうといふ大きい尊い精神は、神ならてよくこれを與ふるものがありませうか。同時に唯一つの神による事が狭きが如くしてしかも自分が生くると共に人に與へても、なほ餘りあるものである事を證するに足るものではありませんか。われ等は人を生かすには、先づ自ら生きねばありません、自ら生くる爲めには愛に充てる唯一つの神を知ることに、勝れるはあら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じと信じます。

セント、オーガスティン と其の母（口繪說明）

小此木松子

口繪に出て居ます、美くしく尊い母子の繪は御存じの方もありませう、セイント、オーガスティンと、母のモニカとでございます。オーガスティンは、まだ基督が生れて日も新らしい四世紀の半に、イタリーに生れた人でした。父は貧しい判事でしたが、家柄としては其地の舊家でした。母といふのが、此モニカで、此母の深い信仰と、限りない愛の力とて、後世に聖者と歌はれる樣な子も生ひ立ちましたのです。

さて此子とても、初めから、すく〳〵と清く生ひ立つたのではありませむ。當時、伊太利とは、海を隔てた、カーセージは戰勝の餘光、すさまじい物質的の繁榮を來し、今の世にさへ劣らぬ樣な華奢遊樂の風にすさむで居た時です。年若いオーガスティンの心はいつか其方へと引つけられて、年十七の時、已に家を奔りて、カーセージに不健全な生活を始めました。二年の月日を泥海の樣な下劣な社會に過した後、幼い頃に母より受けた信念なども全く涸れ果て、其頃流行つた、いろ〳〵な學說の感化を受けて神を蔑る事さへも覺えました。性來優しい愛に充ちた母、堅固な信仰の生涯を送つて居つたモニカには、此子の成行が、身を切るよりも辛く思はれたのです。朝夕の涙の禱りに唯一つの願ひは此子を救ひ玉へとばかり、或時には禱願の中に若い御使の姿さへも拜むで、希望の聲を聞いた事さへもありました。

カーセージを去つたオーガスティンは、其後も諸處で亂行を續け、且つ己が信ずる學說に人を導くが爲には、基督に種々な反抗もして、唯々母の歎きを增すばかりでした。丁度二十九の年に思ひ立つてミランからローマの方へと旅立ちましたが、此時も母の願ひは唯彼れの悔悟を見る事ばかり、熱い涙を以て彼れを見送つたのでした。

ミランには其頃、一人の聖者があつて、廣く神の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

道を說いて居ました。偶然其敎を耳にした、オーガスティンは、新らしい信念の芽が蒔かれたのです。モニカも亦遙々とミランに來て、聖者にあひ、我子の上をも賴みました。一年二年を經る中に、若いオーガスティンの疑念は追々と晴れて、年來の黑雲は日每に薄らいだのでしたが、熱心な聖書の講讀、殊にポールの書を讀み味はつてから、大に悟り、遂に其年三十二の秋、一生を神に捧げる誓と共に、受洗しました。歎き禱つた母の喜びは譬へ樣もありませむ。もうはや、此世に用は無くなつたと申ましたが、丁度其翌年、アメリカの地に亘る我子を送つて、ミランの片邊り、淋しい旅宿に宿つた時、俄に病を得て、遂に其地に歿しました。其臨終前後の樣が、有名な、カンフッションの中に詳しく、而も非常な力と溫かさとに充ちて畫かれて居ります。

丁度、モニカが、此世を去る前、或夜靜な窓側で、靜思に溢れた親子二人、空に美くしい星光を仰いで天上を思ふたといふ事が、其子の筆に殘されて居ます。其夜――神を思ひ神を讃して思ひを馳せた其夜のさまを畫いたのが、此繪でもありませうか。

談叢

汝の若き日に於て救主を知れ

河井道子

古くして新らしき敎へ

今日の日本に於ては新らしい事が續々と紹介される故に、今珍らしいものは何かと問ふても、思想界に於ても、物質界に於ても、格別珍らしい事は殆どない。凡ての事が陳腐である。それ故基督敎が新らしい事を敎へぬとして輕ずる人があるが、此敎はもとより二千前よりの古い敎へである故新嶄奇拔な事がある筈はない。昔も今も將來も同じことであるが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此を信仰する者には何時の時代も絶えず新らしい。「昨日も今日も何日迄も變らず」と同時に「日々に新らたなり」と云はれた如く、一方では古く、一方では新らしいのが此教の力である。

基督教は世界のもの

年若き人に、なぜあなたは基督教に御這入なさいませんかと問ふと、兩親が不贊成だからとか、家風や團體に合はぬからとか云はれる。成程基督教は外國の教へかも知れない。然しさう云へば佛教も、儒教も、外のものも、皆その入來の當時は外國の教へてないものはなかつたのである。善いものに西洋も日本もない筈である。何處の學校にもストーブがある、オルガンピヤノがある。家には電燈電話があつて便利である。此等は皆西洋から輸入し教へられたものである。他國より受けぬもの丶數が却て少ない。昔人が穴居して居た頃は、奇麗とか、立派とか云ふものを何も持たなかつた。然し世が進むにつれて、それが互の長所を消化し、利用して進歩發達した。學者社會に新らしい事が見付かつた時、これを隱して居られやうか、殊に醫者社界では、一つの發見をすると、廣く世界を利する爲めに、之れを使用しなくてはならぬといふ規約が出來て居るとの事てある。我々はもしよい事があれば、王樣からでも、乞食からでも聞き、習ひ消化して己がものとし、又他に分つべきものならば有形無形を問はず分なければならない。皆樣の年頃には、人の事を見て氣の毒だとか、可愛想だとか慕はしい懷しいとか云ふ念が格別に強く萠して居るものである。その情を押し廣めて行つて、主エス、キリストの御一生を仰ぐ事は、いかに幸な事でありませう。自分が祝されたら、その幸福は友達にも及ばずには居ないのである。基督教は我日本では、いまだ微々たるもので、決して盛んであるといふ事は出來ぬ。然し目を上げて世界を標準にして見たらよい。軍の時、一隊は退却されても全軍から見て勝利を占めて居るかも知れないと同樣にクリスト教も日本に行はる丶狀態が不滿足であつても、世界から見る時は、常に勝利を占めて居る。決して世界に於て輕ろしめられつ丶ある宗教ではない。當時は何事も、同盟とか、聯合とか云ふ言葉が行はれて、世界的といふのも、既う少し狹い心地がするが、基督教はもはやその世界的の教へとなつて何處にても適應されて居る。「われ律法と預言者を廢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る爲に來れりと意ふ勿れ。われ來て之を癈るに非ず、成就せん爲なり」と云はれて居る如く、もし東洋に美德があらば、それを破壞せん爲めてはない、益々發揮する爲めてある。

歐米學生間に於ける基督教の現狀

扨先輩の國々は基督教活動の種々の方面がある。一體基督者は、何處に行つても或種類の人々には嫌がられ、邪魔にせられる。その筈である、酒を飲む、それもいけない、煙草を飲む、それもよろしくない、ふざける、それも好ましからぬ事であるといふのであるから、けぶたがられるのは當然である。その代り「義人は義人に義しとせらる」眞の信者の集まれるのは、誠に美はしきものである。然らば西洋の學生等は大抵基督信者であらうと思ふが、それもさうではない。獨の某大學を訪ふた時、一人の學生が主エス、キリストを公然云ひ現はし得るのは、五十人の中僅に私一人である、それ故常に十字架を負ふて居ますと、彼等の多くは、基督教は獨逸の學說に合はぬ。單に情緒に訴ふべきもので、取るに足らぬものであると云つて居るとて嘆じて居つた。英國、米國でも宗教に冷談なる學生が多くある。瑞西には外國の學生が來て居るが、中にも露西亞の女學生が多く、彼等の大部分は神の存在を認めない。從て彼等の品性は下層である。その他基督者であつても、名のみの信者が多い。何故かく比較的眞個の信者が少ないかと云へば基教は個人個人の教へて、己れと神との關係であつて、實が擧らなければ、それは信者と申す事は出來ない、實があれば少數の人でもよく世界を動かす事が出來る。少しのパン種子、それが大したものである。數に非らで、質と云ふが此教の力ある點てある。何處の學生も日課に追はれて忙しいものであるが、外國に於てはこれ等少數の熱心な信者の學生は、他の學生の爲めに種々の會合を開く。神を知れる人々は、親切て、行儀もよく、人からも敬愛される人々てあり、且つ彼れ等は最もよい道を知つて居るのを、之れを人に傳へる責任を感じて傳道して居るのである。

殊に學生に傳道する必要

五年前世界の學生同盟會の各代表者が此神田の青年會館に集り彼れ等の進歩を計らんが爲めに、協議した事がある。其題目は科學的のものてなく純然宗教的てあつて、要は「主エスを學生の間に紹介す

るには如何」といふにあつた。彼等先輩は此教が將來多望の青年男女に必要なるを認識して同盟會成立以來一年隔きに世界中の何れかの國でこの會が開かれる。今年の春は土耳古の首都コンスタンチノーブルで開かれた。二十二の國から代表者集り、各國から五十八人の婦人が集まつた。かやうな世界的運動として、學生に就て論ずる必要は如何なる所にあるか。

凡そ何が大事かといつて、學生と若い人が神を知る程大切な事はない。神を知る事は無學文盲の人をも有爲の人物に化する。況して學校で教育されたものが信ずる日には其感化は偉大な筈である。然し抛げやりにして置いては神を知る機會を逸する。「汝の若き日に於て救主を知れ」と云ふ事がある。年を取るとどうしても純潔な心を失ふものである。何の汚れも知らぬ子供の時から、神を知る幸はどれ程であらう。五十六十になつても悔い改める事は、改めぬ事よりどれ丈けましか分らぬが、然しその五十年六十年を汚はしき事を知らぬ人として送つたならば、どれ程神に似た清淨な幸福なものとなるかも分らぬ。今教育を受けつゝあるあなた方の手に、將來は社會の主なる部分が歸するのである。その人々が純潔な信仰篤きものであると否とは、社會にとつて非常な相違である。茲に於てか基督教を愈々宣傳する必要が起る。なぜ基督教によらなければならぬか。

基督は一番よい手本である

からである。人は依賴心のないといふのは傲慢の人であつて、何かよい手本に依つて、自分を愈よ完全に作り上げたいと思ふものである。手習ひをし、學校で勉强するのも、皆手本に習つて行くのである。よい手本に習ふと云ふ事がなければ、教育は出來ない。我れ我れの凡ての手本としてキリスト程よい手本はない。皆さんは學校でよく御經驗なさることであらう。生徒は先生によく字名を附ける。それは褒めた事ではないが、畢竟これは生徒といふものは嚴しく先生の長所、短所を見分けるといふ事である。それ程生徒には手本といふものがきゝめのある事を證據立てゝ居る。またよく若い間は、先生とか、或は朋友を尊敬し過ぎて、やがてその先生とか、朋友とかの短所が見え出すと、非常に失望する事がある。もし我々がキリストを手本にしたならば、決して字名をつける必要もなければ、失望する折もない。益

益キリストを知つて、益々その完全な手本である事に驚くのである。キリストが完全な手本であると云ふ事は、私の言葉ではない、世界で認むる所である。

日本の婦人果して優れりや

今日東洋に於て最も注目せらる丶のは日本である。日本のする事は注目せられて居る丈け確かに影響が大きい。もし日本の婦人が起てば、必ず支那、朝鮮、印度の婦人は之れに注目して、倣はんことを希望して居ると世界は云ふてをる。然るに我が婦人界には、まだ／＼他國の手本となる程の大きな精神もない、立派な働らきをもして居らぬ。何か足りないものがある。例へば親の云ふ事に叛く事はよくないと云ふ事は知つて居る。然し正義を立て通す爲めには、親の命令にさへも叛いて勝利を得る事が、神が人間に命じ給ふ所であると云ふ事は、まだ／＼實際の場合行はれて居らぬ。例へば公娼制度の如きも、もし正義の爲めには親にも屈しないといふ念があれば、自然とこの忌はしき制度は亡くなつて行くであらう。日本の德も捨て難い所があるが、それにのみ安んじて居る事は、獨り天狗になる恐れがある。まだ／＼日本の凡ての事は世界に比すると幼稚であつて、進歩すべき餘地は充分にある。日本程朝から晩迄女子に向つて良妻賢母たれと叫んで居る國はない。それで世界に勝つて良妻賢母を出して居るか。否日本程離婚の多い國はない。この忌はしい離婚は下樣に多いかといふに、敎育を受けた立派な社會にも隨分多い。これは男子も社會も惡いが、またこれは確かに良妻賢母の少い證據である。良妻賢母は家政學によりてのみは作れぬ、基督敎によつて高き精神敎育が行はれなければならぬと思ふ。茲に基督敎國の他國に優れる所を擧げて見ると、

標準高し

唯一の神を信ずる基督敎は、さすがに善い所は非常に善い。さう申すと皆樣の父さんや、兄さんは、巴里とか、倫敦の社會も實によい加減のものであると云はれるであらう。然し日本の敎育を受けた婦人百人と、西洋の敎育ある婦人百人とを比らべて見たらば如何でありませうか。日本は實に幼稚で、彼れ等の高き標準には及びもつかないのである。「凡てのよき事は上より來る」のであるが、日本には悲しい哉その力の來る源がない。彼れ等外國の婦人は確乎たる信仰を持つが故に大膽であり、主義の人である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「一人娘に婿入人」といふが、これは日本の女に主義なきが故に、何人をも迎へ、何人にも直ちに厭くと見るによい事實である。外國の女學生は主義の人てあるから、友達を擇ぶにも、夫を選ぶにも、實に標準が高い。金とか地位とか、馬鹿な自由主義とか、他人よりの威力におぢてではない。次は

純潔である

日本では愛といへばすぐに汚い聯想を持つ。また結婚式など云ふても、酒を飲み、興じ騒ぐといふので、極めて神聖を缺いて居る。私は外國旅行中屢々結婚式にも招かれたが、中に殊に忘るべからざる印象を殘したものがある。今その一つを擧げて見ると、十年前支那に拳匪が起り、多勢の宣教師が逆殺され、その時各國聯合軍の先鋒をしたのが日本であつた事は、定めし皆樣の記憶に新らたな所でありませう。その殺された外國宣教師の内に、私の友人が二人居つた。然るにその一人の妹君が、過る頃米國で結婚せられて、私は丁度其處に參り合はせ、結婚式に連る事が出來た。この新郎新婦は、會堂の白い花青い葉に包まれた講壇の前に立つた。その右には亡兄亡姉の道の爲めに斃れた記念の碑文がある。恰も彼等の靈前にて式を擧げたと同樣に會衆は感じた。やがて一月の後にはこの新郎新婦は、支那に渡つて、亡兄亡姉の遺業を繼いで、神の爲めに働らかうといふのである。この場合どうして二人が面白半分の氣分で居られやうか、實に眞劍である。己れを捨てゝ只聖旨のまにまにと希ふ純潔なものである。誠に主イエス、キリストならで、この神聖を臨らすものがあらうかと思はれた。かくの如く基督教によつて、凡ての事を神聖にする。女子の權威を上げてもらはなければならないと思ふならば、先づ神の前に高潔のものとならなければならない。

基督教は男女により教を區別せぬ

基督教は男女の區別はなく、天の父より見てわが息子、わが息女と云ひ等しく神の愛子である。これは他の宗教に見られない所で、基督教が殊に婦人の地位を上ぐるに力ありしものである。佛教に於ては、女は生れ乍らに罪があるといふ。今日マホメット教の女、印度教の女を見れば、如何であらうか。實に憫然の至りである。幸にして日本はそれ程でもない。然し神の前に同じく「わが父の完きが如く完くなるべし」と導かれた教へは、實に婦人をして神に似た

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

尊き所迄達せしめんとする誠に無限の權利を與へられたものと云はねばならぬ。

與へる事を知る

「受くるより與ふる者は幸なり」との敎への如く、人に與ふる事は誠に嬉しいものである。金がなければ、人に與へられぬか、否、同情により、祈りによりてなりと、人の爲めに計る事が出來る。基督敎は外の人の爲めにする事を敎へる。故に基督敎國に於ては、大學、中學生はもとより、小學生も幼稚園生でも、必ず何か人の爲めに働いて居る。米國で私が訪ねた一敎會は、日曜學校が十三に分れて居り、白髮の老人から、三つ四つの子供迄の組がある。驚いた事には、その組々は各々寄附金を募つて、一人宛外國の生徒を養つて居る。日本では慈善の爲めに金を集めやうとしても、喜んで出して下さる所は誠に少い。學生も自分丈け自分丈けと云つて、自らの爲めに計り汲々として居る。「眞の神主エス、キリストは罪ある者の爲めに命さへも與へ給ふた。然るに我が國では慈善の爲めに金を寄せても容易に集まらぬ所から、慈善演藝會等云つて、下樣の女の歌ひ舞ふのを見せなければ金がよらない。これて眞に慈善の意味が叶へられやうか。これ等は實に東洋の未だ遙かに西洋に及ばない所である。これ畢竟眞の神を知ると知らざるとにあるのである。もし神を知つたならば世の中は萬遍なく働らくのである。今日のやうでは、飾り度い、見度い一バイ故たとへ學校敎育を受けるにしろ其が爲に却て惡智惠に身をあやまる樣ては何時迄經たうとも社會の改まりやうはない。

基敎の權威

約めて云へば、基敎は「醫者は見、跛者は行み、癩病は潔り、聾者は聞き、死し者は復活され、貧者は福音を聞かせらる」その通りの事を現に行ひつゝあるのである。慈善事業は基督敎國が始めた。日本ては姥捨山等云ふ古蹟もある位で、兎角年と共に精神も枯れて世の中の人の足手纒ひとなり、うるさがられると又他の者も邪摩にして、冷酷な處置をせんとも限らない。然し基督敎者は何國に於ても年と共に愈々温い愛の泉を深く湛へて、死ぬる迄人の爲めに計つて、世の有用な人となつて居る、東西兩洋何れの國を歩んでも、基敎の婦人、家庭には通じた所があり、よく似た所がある。人種は異つても、金があつても、貧乏てあつても、高貴の人、卑賤の人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ても、キリストに於て一つなる精神は實に温く、親しく、他人の樣な氣がしない。日本の家庭に血まみれ騒ぎや、新聞の三面種子になるものが何故多いか。彼れ等に温さ愛や、絶えざる力を與ふるものがないからである。これ等は上下の階級とも共通の樣に覺えられる。又日本の立派な敎育ある婦人がなぜ卑き物汚れし事物に誘はるるのか。自分が惡いのである。見る目を與へられて居りながら、これを開かないのである。我々は基督敎によつて見識を高めて行けば、瞽目も見る事が出來る。我々は先づ「神の國とその義しきとを求めよ、さらばこれ等のものは加へらるべし」我が青年會は基敎の一部分であり、我が日本女子基督敎青年會は、萬國基督敎女子青年會の一部分である。然しまた一方から微々たる本會も、世界を潤めんとする大なる團體に屬して居る事は、眞に甲斐のある事である。日本に忠義な孝行な人になるには、眞の神、主エス、クリストに由ると信ずる。願はくば來會の諸姉妹、機會のあらむ限り此宗敎を御研究になり、眞の幸福を年若き中に得られ度きものである。（明治四十四年十一月十九日青年會館に於ける講演）

女子問題

法學博士　鵜澤總明

△從來の女子問題

我が國に於ては女子が社會的、政治的活動を爲す場合は甚だ少く、大方は家庭を根據とし、又はこれを中心として活動するので、社會公衆の問題に觸るゝ場合に於ても、主として家庭より發する音波の搖動に過ぎないやうである。古來孝女節婦の能く世を動かし、人を感ぜしめたる實例少なからずと雖も、そは社會的、政治的に活動したる場合ではなく、多くは家庭に於ての働らきである。殊に男子の組織したる政治界に、女子が仲間入りをするのは、不適當な次第て、支那の思想より來りし垂簾の政治と雖も本來は已むを得ざるに出てたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△何時より男女の地位に別ありしか

神代の事は漠たれども、その當時にあつては、男女分業の制度、未だ確立せず、女子の職業と男子の職業と常に相隔たることが出來なかつたものゝやうである。從つて女子の地位も男子の地位を離るゝことが少なかつたのである。男女問題の漸く緒に就かうとしたのは、漢籍傳來の後に在りと云ふてよいであらう。我が國に外交的の意味で、漢籍の傳來したのは、垂仁の朝、王仁の論語、及び千字文を獻じたのに始まる。而して此等の書物に依りても、已に男女の地位は略定めらるゝ所ありて、幾多の影響を及ぼしたるを知るに足るのである。其後漢學の思想益々盛となり、又建國後國家の基礎愈々堅牢となるに從ひ、男女の天性は次第に其本分に向つて分化し、兩者の地位亦相同じからざるに至つたのである。

△儒教の女子に對する觀念

列子（天瑞篇と思ふ）には男女の別は男尊女卑とあり、禮には天高地低乾坤定矣云々の句があつて、婚姻制度の如きは、二性の好みを求むるもの、彼の窈窕たる淑女は、君子の好逑たりと雖も、しかも已に男女の地位は自然に定まれるものにして、女は室家の友、男は天下社會の活動者たることは、孔子の尊びたる禮即ち制度の上より見るも亦明白である。孔門の六藝は禮樂射御書數で、これは士以上の教育する學問である。士大夫以上の社交界は政治の餘暇に現はれたるもので、共に男子の本分に係り、女子の多くは與からぬ所である。斯の如くして分化は次第に深き道理を生ずるやうになつたのである。

△歴史上より見たる女子の地位

漢學の傳來と共に、後には唐の制度迄も日本に來た次第であるから、日本に於ける女子の地位は、上に在つては內宮內室に存し常に陰性に傾いたことが分る。從て法律上、政治上に於て認めらるゝ人格は甚だ薄弱であつた。白樂天の詩に「人生婦人の身と爲る勿れ、百年の苦樂他人の依る」といふ意味のあるのは棄てられたる婦人の境遇を描き得て妙なりと思ふ。藤原氏の時代に於ても、平家の時代に於ても婦人の地位は男子の好遇たることを得れば、僅かに幸なりと云ふに過ぎなかつた。佛教の渡來後も婦人の地位は毫も變動することはなかつた。寧ろ現在の地位の微弱なるを諦らめて、消極的に安心を求むる工夫に耽らしめたといふべきである。淸盛に捨て

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られたる祇王の今様には「佛も昔は凡夫なり、我等も終には佛なり、三身佛性具しながら、隔つる心の憂てさよ」とありて、獨り清盛の寵を擅にせる佛御前を妬むのみに非ざることを推知することが出來る清盛の子重盛の美人を集めて燈籠守となしゝ類は、如何に佛法歸依の餘とは云へ、極端に走りたるものと謂はなければならぬ。源家の時代と云つても婦人の地位は高からず、北條、足利の時代も亦同様の狀態であつた。婦人にして會々勢力を得て男子を頤使し、翫弄したものゝ起つたのは、眞に例外と見るべきものである。應仁以後の亂世に於ては、婦人の地位の向上すべき筈も無く、徳川時代に至つては、婦人の地位は徳川の天下の固まると共に、益々陰性に定向せるを見る可く、近松の戯曲、貝原の女大學、共に女子に無限の忍耐を强て需め、殆んど女子として獨立の天地が無いと見ゆる迄てある。

△農家に於て僅に女子の地位を保てり

凡そ日本帝國の歴史制度、又は時代時代の文學等から判斷せんか、女子に與へられたる獨立の天地、自由の範圍は甚だ狹きものと爲るてあらう。然し事實は此等の形に於て見るよりも猶自由な處が無くては人類の進步と發展とは到底望むべからざる筋合であるから、恐らくは女子の地位は自由と獨立とに於て缺くる處ある丈けに、又男子に依つて保護せられた點も少くなかつたであらう。然し保護に過ぐれは却て益々纖弱となる道理であるから、男女は保護關係斗りて經過し來れりとは斷定する事は出來ない。思ふに我が帝國が農業國としての政策を取り、農業本位に政治の理想を定めたる以來、女子の地位は農[illegible]に於て最も健全なる方向を取つて進み來たものへる。農業に於ては男女の勞力に大した懸隔が專制治下に於ける農業の基本團體たる農村に在つては、男子の政治範圍も又其社交範圍も、自ら制限があつて、之を女子と著しい區別をすべき程のものでは無い。男子の耕耘の業と、女子が家に在つて子女を鞠育するのと別して差違はない。故に法律、政治上の地位の異る程に、實質上の地位の異る譯のないのは自然の結論であらう。都會に於ける町家の家庭に在つても亦同一なるべき筈であるが、都會に在つては或は社交上の關係、或は男女の娛樂上の關係に於て、農家に於けるよりも女子は壓迫せられたものゝやうである。從て又女子に對し消極的に慰女の方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法も講ぜられ、芝居道の如き、遊藝の會の如きもの次第に發達し來たのである。士族の家庭に有つては婦人の自由、到底農家、町家に比較し得可きに非らざるものと見る可き點が多い。米國の前大統領ルーズヴエルト氏は、米國にても農家に於て、眞に婦人の地位を認めた模範家庭を見て喜ぶと云はれた。之れは又我が國とは反對で、都會の婦人が餘りに社交界に飛び出し、自由の範圍を擴張するに務むるを見て、不快に堪へずとなし、農家に於ける地位を見て、喜んだのである。故に關係は我國と反對であるが、農家に在つて穩健なる家庭の狀況、卽ち適當に發達したる婦人の地位を認めたる一段に至つては大に參考とすべきものがある。

△明治の聖代となりては如何

日本は家族制度の國である。家族制度となつた由來に就ては玆に述べず、別に家族制度に關する研究に讓るであらう。唯現在に於て家族制度の國なることを見て居ればよい。而して我國は家族制度と言ふも、家長若くは戶主專制の國である。幸にして漢學者の云ふ禮に依り、倫常の敎を以て一般の風俗を形成して來たので、峻嚴なる法律の下に於けるよりも實際の弊害は少いが、猶娘を賣る父あり、妻を捨て子を棄て、家產を蕩盡して顧みぬ夫がある。實に憐む可きは斯の如き境遇の下に在る婦女である。時世は永久に此狀態に居るを許さぬ。明治の聖代となりてより歐米の文明流れ來り、社會各般の方面に革新の曙光は輝き渡つた。而して明治の新機軸とも許す可きか、先づ法制を基本として天下を治めんとするに至り、女子の地位も亦法律上に於て多少の承認を得るに至つた。從來の家族制度も幾分か其精神を改めて、法制上に於ては家族制度は家族主義と、個人主義との折衷となり、家族は二重の軌道を步むことゝなり、所謂單線式にあらずして、複線式となつたのである。仍て女子の地位を觀察するに當つては、公法上に於ける女子の地位と、私法上に於ける女子の地位とに分つのが便宜であらう、乃ち之を大別すれば

△法律上に於ける女子の地位

先づ公法上に於ける女子の地位は(イ)行政權上の地位としては任官の權、官立學校敎員、女子判任官等がある。(ロ)立法權上の地位、(ハ)司法權上の地位は無し。宮內官に就ては略す。私法上に於ける女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子の地位としては(イ)戸主となる權、(ロ)親權者となる權、(ハ)親族會員となる權、(ニ)營業を爲す權(但し制限的)(ホ)推定法定家督相續人となる權、(ヘ)遺産相續人となる權、(ト)訴訟當事者となる權(制限的)、(チ)契約締結の權(制限的)、(リ)婚姻並に離婚の權、(ヌ)會社員となり、又は法人設立を爲す權等。

以上の如き法律上の地位を有すれども、猶私法關係に於ては制限的にして、公法關係に於ては絶對に有することの出來ない權利、或は權限が多い。此事は獨り日本のみではなく、世界各國、其國情により多少異る所ありとは云へ、女子の權限の薄弱なる點に於ては大差がないのである。茲に於てか女子の地位を向上せしむる目的を以て、各種の運動行はるゝに至つた。女子參政權運動の如きは、乃ち其一つを爲せるもので、日本に於ても亦幾多の問題を起さなくては止むまいと思ふ。

△女子問題を解決する根本問題

抑も人類は自發的に滿足することを得るものであらうか。或は滿足ありとするも、凡て因果の法則に連結せられたる必然の鎖の一鉤子上に於ける不自由の者なりと覺りての諦らめの滿足のみてあらうか。人類には休息あり、靜臥あり、而して休息、靜臥は意志の活動から來る心身作用の一部にして、寧ろ自由なものが多い。身體活動の結果より慣習的に來る休息ありと雖も、然も之れ亦自由である。自由を奪はれての休息は疲勞より起る場合にのみ之れを見る事を得可く、而して此の場合に於ては、之を休息と言ひ得可しとするも、自覺したる休息ではない從つて滿足の感情は起らないのが通則である、蓋し滿足は休息靜臥に對する感情の表現であつて、意思活動の勝利に伴ふものである。即ち勝利ある處には必ず滿足あり、勝利無き處には眞の滿足はない。人或は知的滿足と謂ふ。諸行無常の眞義を悟りて諦らめの滿足を爲すと云ふのである。茲に安心立命を得と謂ふのである。然れども若し此等の意義を以て、單に知の働きに制限して、知的に悟るのみと言はゞ、實は失望はあり得可けんも、滿足はあり得可らす、虚無靜寂に歸るのは滿足ではない。一切を否定し去ることである。現象世界を擧げて、心の作用に歸するが如き唯心論の立場から見れば、眞我に觸れたる刹那に於て、知的希求の終極に達したりとは爲し得可

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けんも、此場合には已に希求あり、意志の活動ありて、其目的を達することを得たるが爲めに滿足があるのである。靜なる知の世界に非ずして、活動ある意志の世界である。故に個人我を滅ずると爲すも、汎神教の觀念に於ては、一切萬物皆神である。故に本來上下貴賤尊卑の區別のある可き謂れが無い。故に一切萬物の現はれたる處に於て、別に不完全ありとも、不服ありとも言ふこと能はず、即ち一面より見れば總て皆滿足である、而して又他の一面より見れば總て皆不滿足である、而して何れの場合に於ても自發的滿足ではない。皆必然の結果である。靜臥も休息も因果の一鉤子にして、若し茲に自由ありとせば迷妄なりと見る也。國家若くは家族、若くは女子問題の如きも、此根本觀念の異るに從ひて、解決は自ら異なつて來なければならない。

△今日の女子問題

日本の家族制度には儒家の影響を受けたる所多く而して女子問題に就ては佛教の影響、或は汎神教の影響を受けたるものが多い。藝娼制度、躍の如き、頗る汎神教の影響を受けて居る。然るに今日本に於ても亦歐米諸國の影響を受けて、女子の問題に就ても新たなる解決を與ふ可きや否やの時代となつた。試に今日の女子問題を大別すれば、(一)獨身問題例へば教育家、商業家、產婆、醫師、美術家、官吏等として、(二)家庭問題、離婚問題をも含むで居る(三)工女、女中等の問題、看護婦を含む、(四)人身賣買問題、(五)政權問題等である。(博士は折を見て更らに之れ等の問題に關し、本誌上にその所説を述べらるゝ筈)

聖書研究に關する注意

柏井園

秩序と克己と工夫

年の改まるとともに今年こそは亂れたる秩序を立て直して、精神上の事も學問の事も又日々の暮し向も整然たる生活をして見たいと云ふことは多くの人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の志す所であらうと思ふ。生活には秩序の靈と云ふやうなものがあつて、物が狂はず調子良く行きだせば總てのものが調のふて行く、之に反して亂れはじめると總ての事が工合良く行かぬ。聖書を讀むこと神に祈をなす事は基督教生活の力の出る源であるから、此の事が秩序正しく實行せらるるならば其の外の事も自然に落着きが出來て來ることと信ずる。物は不規則に遣つて居る中は興味が湧いて來ぬが、斷間なく續けて居ると所謂油が乘つて來てだんだん勢が付いて來る、それは何事にかけても誤りのない法則である。聖書研究の事も始に大體の方針を立てゝ其れが立つた上は克己し障害に克つて着々之を遂行したいと思ふ。それが出來たらばただ聖書から直接受ける利益ばかりでなく品性を訓練せらるる利益も亦大なるものがある。それには強い意志も必要であるが、多少の工夫を要することである。我慢してやると云ふことも爲になるが、始終それではいかぬ、出來れば面白く愉快にする方が得である。それにつき御參考までにいろ〳〵申し上げて見たい。

聖書は生涯の伴侶であるから聖書を買ふ時には少々價は高くても奮發して成るたけ綴方の堅固で印刷が鮮明で長く遣へるやうなものを買つて置くべきものである。さうして或は書き入れをしたり印をつけたりして自分か之によりて神の恩惠を受けた記念が殘つて行くやうにすれは一冊の聖書は非常に尊いものとなる。それは誰でも異論のない事であると思ふが、私は之を反對はしない之を補ふ工夫とし亦新らしい聖書を持つ必要を說きたい。それは私の經驗した事であるが、聖書を初めから一頁も殘さず讀んで見たいと思ふて始めても中途で止めたり外へ飛んだりして終まで讀み通すことは出來難い。そこで或る外國語譯の美しい新約聖書を買つて第一頁から出來るだけ叮寧に讀み書き入れなどして讀んだ書物は新しくて讀んだ處と讀まぬ處とは判然區別が出來るし、今まで出來なかつた事が樂しく出來て一昨年病院で病人の看護をして居る時分夜半默示錄の終の章を讀んで月日を餘白に記した時は一城を陷いれた心地がして非常に愉快であつた。昨年からは又舊約聖書を同し方針で讀む積でそれも別に新しい譯の新しい舊約聖書を買つて順次に讀んで居る。彼の新約と

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の舊約とは少しも敗軍の痕を留めぬ聖書であるから心持良く感ぜらるゝ。聖書にはいろ〳〵の譯がある。然して折々讀み慣れて居る聖書とは違つた譯で讀むと平生氣のつかぬ點を發見する事がしば〳〵ある。英語の讀める人であれば、英譯の方は今の日本語の聖書よりは遙に精確なものであるから英語のバイブルを讀むことを御勸したい。英譯では改正譯(Revised Version)の方が多くの學者の研究によりて三百年前に出來た舊い譯則ち(Authorised Version)を訂正したものであるから此の方が最も信據するに足るものである。それから近代の英語に譯した新約聖書は『第二十世紀聖書』と云ふものとウェイマウスと云ふ人の『近世語新約聖書』と云ふのと二種あるが孰れも信ずるに足るものである。日本語でも吾々の今用ひて居る譯の外に新約の方にはニコライ譯、ラゲ譯などあるが、矢張我々の遣つて居るものに優つて居ると云へない。今聖書の改譯委員が擧げられて毎日骨を折つて居らるゝ、マコ傳の譯の稿本は既に出版せられて居るから參考すれば有益であらうと思ふ。

研究の順序

自身に順序を建てることの出來ない人の爲にはいろ〳〵目錄の類が出來て居る。聖書の友の日課表の如き餘り良く出來て居るとは思はれぬが、惡くはない。之を用ひるならば全く方針のないよりは遙に爲になると思ふ。それから萬國日曜學校科程と云ふものが毎年定められる。今年は馬太、馬可、路加の三傳に據れる福音書を基として、基督傳を研究することになつて居つて、日本の日曜學校同盟でも、參考になる雜誌のやうなものが月々出て居り、又は『福音新報』『基督敎世界』のやうな雜誌にも課程の說明が毎週載つて居るから之を參考とするも便利でせう。聖書は新約の研究が必要であるは言ふまでもない事であるが、しかし舊約書の知識も非常に爲になる。基督者にして新約書は持つて居るが舊約を持たぬ人、持つて居てもあまり讀まぬ人がある、これは大なる損失である。舊約聖書は、宗敎的の價値は別としても、世界の大文學としても非常に尊重すべき書物である、まして其の中には信仰の益になる物語もあり、深い信仰の經驗から出た歌もある。基督御自身の宗敎は舊約聖書に養はれた事が少くない。彼は舊約の言を以て誘惑に勝たれた、又舊約の祈の言

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を以て祈られた事もある。實に基督の事を知るには是非此の源に溯ぼる必要がある。

聖書と高山植物

聖書は一人の書いたものでなく、時代も別れて居り書いた人もいろ〳〵違ふのである。故に書物により人によつて發揮して居る點に差がある。高山には平地にない植物がある。然して甲の山には乙の山にない花がある草がある。聖書にもこれがある。こう云ふ處はこの書物でなければない、この書物のうちでも此の章此の節でなくてはないと云ふ事がある。其れであるから聖書は何處でも神の惠、神の愛の事が書いてあると云ふ漠然たる事ではいかぬ。其の書物、其の章、其の節にのみ現れて居る特別の意味、特別の敎訓、特別の色彩に注意しなければならぬ。たゞ聖書の何の部分にもある思想のみを得て滿足する人は高山に登つて高山植物を採らず平地にてもある植物を採つて歸る人と一樣である。

精讀と通讀

故に聖書は精讀しなければならぬ。出來れば簡單て良い註解を坐右に置いて(英語では(Century Bible Cambridye Bible の如き最もよし)、文字の意味も明白に調べ又ことにしみ〴〵思ひ、反省し、祈り、味ひて讀むべきである。かくして或る一部は我が腸に燒きつけるやうに深い印象を我等に留むる。しかしこればかりではいかぬ、時には五章も十章も又或る卷を通讀して全體の調子に觸れなければならぬ。

人と倶に讀む

密室に於て獨り聖書を讀むことが必要であるもともに、他の人と集まつて、他の人の讀むを聽き、一緖に研究し、又他の人の爲に說明したりする中に、自分獨り考へては到底見出だすことの出來ぬ意味を發見することが多い。他の書物でも會讀すると云ふ事は甚だ益の多い樂しいものであるが願くは聖書の會讀を盛にしたい。友とともに讀み、家族とともに讀み、人の講義を說き、出來るやうになれば人の爲に講義をすべきである。敎へるものが却て敎へらるることが多い。

根本の目的

聖書を研究する根本の目的は神より敎を受けるにある。文字は神の靈を傳達する器たるに過ぎぬ。此等は神の御心を學び神の我等に求めたまふ事を知り基督を知るによりて人間の神に對する心を知り、其

獻身犠牲の精神を學ぶことによつてだん〳〵基督に似たるものとなる。これが聖書研究の大目的である。聖書は活くる生命の産物である。我等之れによりて活くる生命を得たいものである。今まで得て來たが今後なほ一層努力してこの救の井より生命の水を汲みたいものである。

講話

新らしき生命

マグドナルド

基督御自身のお考では、宗教といふものは、生活の法則でも無ければ、理論でも無い、即ち、生活或は生涯其ものが、宗教と、から認めて居られたのです。基督の御眼から見た、宗教的の人といふのは、後世の人から慕はれ懷しまれて、彼の人の送つた生涯が知りて見たいと思はれる樣な人でありました。隨つて、其人の神の觀念が、理屈や議論に表はれる先に、其生涯に表はれて來る事を望まれたのでした。是が爲に、基督時代の所謂宗教——形式を悦び内容を缺いた、犠牲も、愛も涸れて終つた其宗教には大に反對なされそれ等の人は全然、宗教の意味をとり違へて居るものと御思ひなされたのです。外面の儀式形容は、基督の前に何の價値もありませむ。精神の清く正しいものでなければ、其外に表はれる容が清く正しい道理は無い、心美くしきものにして初めて神を知り、神を知れるものにして初めて犠牲の生活を送り得るものと御認めになりました。誰しも基督の生涯を讀むで見れば、氣の附く事ですが其口にせられた所は多く神の事であつて、人事といふものは、殆ど說かれませむでした。といふ理由は、眞に神を認め、神を知る者ばかりが、此世に生存する事になれば、人生萬般の難問題は、自然に解決を告げ、人間相互の融和を見る事が出來るとお考になつた爲です。彼の「御國を來らせ玉へ、御心の天になるが如く地にも爲らしめ玉へ」と禱る樣に、御弟子等に敎へられたのも此御心から出たのでせう。人間にして尙、神の生涯を送る事は、出來得可き事で肉體の存在以外に、眞の存在を認められた事は「我が來るは汝等に生命を與へ、且つ豐かめらしめむが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爲なり。」と申された言にも明らかです。

今世界諸國の宗教史に照して見ますと、東西古今の別なく人間が皆一樣に或大いなる生命の源、眞理の所在、眞の幸福と滿足とを求め捜かした跡が、あり〳〵と見られます。此生命の源泉を見付けるが爲に、古來幾多の人々が、諸種な方法を以て奮鬪しました。或は、肉體の諸慾を極端に抑え、是に依て精神の高上を見むとつとめ、或は、高山に一人籠つて靜寂の中に、大いなるもの丶存在を認め樣と計りました。が、是等、難行苦行に依つて尙且つ得難たかつた其眞理に、まことの解決を與へむが爲に、世に出られたのは、唯基督あるのみです。而も其解決を孤獨や、隱遁に表はされたのでは無くして、此世の中に、此最も廣く、自由に温き世の中に、お表はしになりました。彼の使徒ヨハネが、後年、比べるに物もない大いなる主の惠みを思ふて叫むだ言に「人若し基督に在らば、新らしく造られ、古きは消え去る可し。見よ、彼等、新たになりぬ」とあるのも、道理ある事と思はれます。即ち基督が此世に出て玉ふたのは、眞理と愛と生命とを求めむが爲では無くて與へむが爲てあつたのです。「我は道なり、生命なり。人若し我に來らざれば、父に來る事能はず。」といはれたのによつても、基督は、人生の秘鍵を握つて居られた事が分ります。

神は即ち生命である、活きた生命である。愛に溢る天父てあるといふ事は、基督は一刻だも疑はれた事はありませむ。それですから基督の此態度をよく解して居らなければ、父として神を見られ、敎へられた其御言が到底のみこめるものではありませむ。神に對する此考、此感じが基本になつて始めて、その樣な美はしい崇い生涯も御送りになられたのでせう。神が此世に處せらるる根本は、眞理と愛であること、人間は皆、神の御心を世上に廣めるが爲に作られたものである事、進むでは、御自分自身が、神の道を傳ふる爲に、此世に生れ玉ふた事を基督は確實に信じて居られました。此樣に、充分に心からお信じになつたが爲にこそ、あの樣に神聖な生涯を地上にお遺しにもなれたのでせう。

それならば、基督は唯幻影を見た者の樣に、天上には美はしい樂園があるといふ事を此世に知らするか爲にのみ下られたのでせうか。唯それのみであつたとしても、其惠みは深いものであつたかも知れま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せむ。彼れの世に殘し、幻影に依つてさへ、汚れた罪の世は餘程の高上を來たしたのでした。然し基督の來られたのは、是ばかりでは無く其樂園に趣くの道を自ら示され、自ら地上の樂園を現出せむが爲であつて、基督が出られたが爲に、人は始めて新たなる生命、新たなる道念の强さを感ずる事になりました。そして此感じを得たものが。後年「基督に從ふ者」即ち基督敎徒と自稱したのですが、それならば彼等は如何にして、其名の示す如く、基督に從ふたてせうか。主の示し玉ふた道は決して易安や利己の道では無かつた事はいふ迄もありませむ。唯己れを忘れ、窮乏に苦しむものゝ爲に盡され、當時の輿論に反抗して其正しと思ふ所を踏まれ、己れを淸くして罪を憎みながら、尙罪ある者を憐まれた其大いなる御心はまだ嘗て地上のものゝ經驗した事の無い崇高なものでした。基督を捕ふるか爲に向ふた捕手等が已に、此を證據たてゝ居ますし、又罪ある者は高潔なる基督の前に其罪を恥ぢ、弱き者は彼に依つて力を得ましたが、唯、彼の前に悔ゆるを知らなかつた憐れむ可き罪人の爲にのみ十字架上の人となられました。

基督信者たるの謂は、唯此樣な生涯を送られた主イエス基督に從ふ事です。ポールが後年申した言葉に「我れ生けるに非ず、基督我に在りて生けるなり今我肉體にありて生けるは、我を愛して我爲に生命を捨てし者即ち神の子を信ずるによりてなり」とありますのも、此處の意味を示したものです。

基督信者たる第一の意義は、自から信者であると口外する事でも無い、又單に、善事をしやうと努力する事ばかりでもありませむ。自分が、神の生涯に觸れ、是れを分け取る事が出來ると信ずる者、又其取り得た使命を地上に廣めるが爲に盡さうと覺悟する者が、眞の信者と申されませう。基督は萬能の神より來り玉へるもの、萬能の神には唯、光榮あつて暗黑なきを信ずる者にして、初めて眞の敎徒たる事が出來ます。基督の最後の禱りに「永生とは唯獨の眞の神なる爾と其遣はしゝイエスキリストを知る是なり」とあります。

基督を信ずる者の一生は、希望の一生です、主イエスが此世にかけ玉ひし希望を以て世に處するのが我等の生涯です。信仰ある者の眼には、個人として又國民として人間全體か統合せられる時の來るのが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

見えて居ます。此愛と融和との地上に現はれむ事を熱心に祈り、是が爲に其全力を盡すのが、眞の信者の態度であつて僅かなりとも是にそむく者は決して主の足跡を踏む者とは申されませむ。「彼れ、己れの國に來りしに其民之を接けざりき」とあるのは、其時代の人心を悲まれた基督の御ことばですが、是は率いて、現代の信者の上にも申される事です。主の望まれた、地上の天國の建てられる日が來る迄は、基督信者の仕事は終りませむ。地上の天國が眞に來る可きか否かは、各人個々の生涯如何に依つて見られる事です。各人に新たなる生命の來る時に、始めて地上に新生命を見る事が出來る此新生命の力に依つて始めて神の國の建設は見らる可きものです。「人基督に在る時は新たに造られたるものなり、舊きは去りて皆新らしくなるなり。」と申してあります。

新刊紹介

△實行的基督教　山室軍平氏著

同氏の演說を聞いた或未信者が、「私はまだ基督教に就て何にも知らないが、氏の演說を聞いて居ると、何んだか生命を吹きかけられる樣に覺える」と。蓋氏は實踐躬行の基督教者にして、その謂ふ所、悉くその人格を通したるものなればなり。この書も亦氏の演說と同樣の價値を認む。殊に求道者の爲めには、最良の指導を與ふるに足るべし。發行所東京京橋區銀座二の十一、救世軍本營。及京橋區尾張町二の十五、警醒社書店　定價二十五錢

文苑

岐路（ベクビイ作）

風江譯

地方の良家から都に來た青年の話を極手短かに書いて見やう。此の大きな、然かも甚だ劍呑な都の中て難船して、實に酷めな、悲劇的の生活をするやうになつた彼は、遂に宗教の救ひに其の身を托さねばならなくなつたのである。

彼は子供のときから、氣隨氣儘に育つたことのために常に苦しめられて居る。自分の好むところに隨つて生活したいと云ふ狂熱的發作に驅られて父の家を飛び出した。或る家に雇れて、何んな辛苦をしても、只た兩親の八釜しい干渉から免れたいと云ふ一念で、其の他を考へる餘地さへなかつたのである。

其の兄弟らが彼に向つて何しに都に上るかと尋ねたときに、人は自分で自分の事業を遣らねば駄目だ、君らも其の考へにならねばならぬと云つた。其の父が家に留るやうにと懇ろに請ふたときに、彼は内に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

留る位なら寧そ死んだ方がましだと答へた。田舎の單純な生活に惓み、己を苦めかけた色々の感化に疲れて、此のえこじな性急な青年は、家庭の塵を其の足から掃ひ去り、一人の友もない都に出かけたのである。

新聞紙の廣告で、或る居酒屋に雇はれることとなつた。無禮にも此の居酒屋の用紙を使つて自分の家に手紙を書き、其の兄弟らが詰らない田舎に燻ぶつて居て、人生が何んなものであるかをも知らぬなどと云つて遣つたこともあるほど、此所に居ることを誇りとして居たのである。宗教のことなどは、もう全く念頭にも置いて居なかつた。

彼が田舎に居た頃最後に雇はれて居た内の主人は、子供の日曜學校の先生であつた。彼の青年の今の境遇を聞いて、此の善人は態々都に出かけて、居酒屋を訪ひ、此んな危險な仕事を癈め、國に歸つて自分の店を手傳つて呉れよと懇望した。青年は其の時のことを話して云つた。

『私は何んな心持をしましたかお話することが出來ません。私の心の中には自分で仕事を致しますと其の人に云ふやうに誘ふた或るものがありました。ところがまた一方に於ては其の人の忠告に從へと云ふ聲も聞えたのです。私は自分の力で仕事をしますと其の人には云ひませんでした。然し私の擧動は其の人をして私が其の干渉を憤つて居ると思はせましたでせう。其の人は其の儘歸つて了つて、再び私を困らせたことはありません。

其の後幾月か經つて都で始めてクリスマスを迎へた。其の時から彼は酒を飲み始めた。隨つて其の身持も崩れ、習慣も破れた。然し自分の仕事だけは忠實に盡し、雇主には評判が好かつた。一年ほど過ぎて後、彼の心には不安に堪へぬものがあることを意識し始めた。そして他の場所に移る氣になり、もつと繁昌する料理屋で、もつと好い地位を得、以前よりも幸福な身となつた。然し其の幸福は同じ店に雇はれて居た或る女と戀に落つるまでのことであつた。此の女は容貌の好い、然かも變り易い浮氣者であつたらしい。或る船員と結婚の約束をして居た。女の考へでは、他の男と不義をしない限り、何んなことをしても契約を破るわけではないと思つて居たのであらう。それで隨分巫山戯ちらすこともあつた。人を惹き着けて、之を惑すことがして見たい性分な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。然し常に或る點まで進むと巫山戯ることは、はたと廢んだ。青年は不幸にも此の女に憬れて、心から之を深く戀ひ慕ひ、己が身を献げるまでに之を尊敬して居たのである。女の爲めに彼は金を貯へた。そして女と共に劇場に行つたり、音樂會に出かけたり、料理屋に上つたりして其の金を費ひ果した。

戀は彼の腐つた血を氣狂のやうに煽つて、到頭女が自分の意に從はず、己が持ちものとすることが出來ぬのを知つた曉には、之を虐殺してくれやうとまで思ひ詰めるほどに彼を落膽せしめた。彼は女を虐殺して、自分も自殺しやうと思つて居たのである。彼の云ふところによると、女を自分の持ちものにすることが出來ぬと云ふことは、彼を狂はせて、女を虐殺しやうといふ決心を堅からしめた重なる原因ではなく、却つて他の男が此の女を自分の持ちものにするであらうと云ふ恐ろしい考へが浮んだ爲めであつたさうだ。女が他の男の妻となるのを見るよりは、寧そ女を殺した方がよい、自分の手で殺した方が好いと思つたのである。彼は女を自分の手から扼き取らるゝに忍ばなかつたのである。

彼は其の苦悶せる胸の中には、虐殺をすることが神事のやうに思はれたときは、粗暴な遣り方と美性的な遣り方と何れを選ぶべきかと思ひ惑ひつゝ、また其の運命を通告せるかの如く卑しい性質が彼を占領して居るのを見て身慄ひしつゝ、此の大いなる懊惱の爲めに、以前よりも餘計に飲酒に耽けつた。

彼其の時のことを語つて云ふ。『私として虐殺を敢てせぬやうにして下さつたのは、神の御手の外はありません。私は生涯の新しい出發をなすやうに勵まされる聲を明かに聞きました。』

此聲が常に耳に響いて、其の念頭に浮ふすべての思想に附きまとふて居た。其の爲めに善を選ぶか、惡を取るか、何らか決心せねばならぬ時の來るまで、彼の暴虐なる感情と、良心の靜かな訴へとは、毎日爭ひが絶えなかつたことである。かくて彼は自分を今の境遇から救ふものは二つの事しかないとの考へが極めて鮮明になつて來た。其の二つのこととは、現在の生活のすべての餘燼を全く棄てゝ了つて、宗教生活に全く己れを托ねゝばなとぬと云ふことであつた。

そこで彼は日曜日の午後救世軍の有名なるレゼント街小隊に出かけることとなつた、時としては禮拜

に出席し、時としてはハイド公園の野外集會にも加はつた。

彼は云ふ。『私は自分の罪を蔽ひたいと試みた。然し以前よりも一層恐ろしく感ずるやうになりました。私は、自分の周圍を取り卷いて居る網が毎日々々堅く引き緊つて來るやうに覺えた。遂に失望のあまり、昔の日曜學校の先生のもとに手紙をやつて、此の苦痛から救ひ上げて下さいと賴みました。』

此の手紙の結果は、西倫敦傳道會へ紹介せられることとなつた。彼は其所の禮拜に出席して見たが、其の苦悶は依然として消えない。『私は曾て手紙に書いたやうな悲しみを感ずるやうになりました。私の古い汚い性質は再び反逆を起しかけて居りました。幾多の疑問は私の胸中に往來して居ました。』然し彼は大いなる煩悶の後、遂に傳道會の係りの一人に逢つて話した。『私は神が私を導いて居られますか、其れは只だ私自身の想像に過ぎないのでせうか。此の二つのことを疑つて居りました。私は神の導きを祈りました。そして私は正邪何れを選ぶかは、私の責任であることを十分に確信するやうになりました。私は一つのことを知りました。二つの道を何らか選ばねばなりません。私は永遠の生命に至る狹き路を選ぶ力を與へて下さつた神に感謝します。誰か神が私を導いて下さることを信じないと云ふものがありましたならば、私は其の人々に向ひ、何うして私の良心に斯のやうな變化が起つたでせうか、其の理由を尋ねませう。』

西倫敦傳道會の指導の下に、彼は啻に心を改めたのみならず、勞働者となつた。首府が青年に與へ得るよりももつと活潑な人生の要求を感じつゝ、ウェルスの炭坑で勞働して居る。以前よりも男らしい四圍の境遇のうちに於て、心の戰ひと戰ひつゝ、祈りによつて其の決心を貫徹し得る力を與へられることを信じつゝ勞働して居る。

彼は或る人に書き送つた。『私は今本統の石炭掘です。仕事をした後に鏡を見て、我ながら大笑ひを致します。『君はもう私に逢つても私を見知らないでせう。まつたくですよ。』

然し宗教の方から見れば、此の人の運命は何うであつたであらう。

（をはり）

訪問

隠れたる愛の働き

小石川美登里幼稚園を見る

みさを

江戸川の終點で電車を降りて、右手音羽の町を稍暫く行くと左に三丁目坂が御座います、この坂をずつと上り詰めると右手に永樂病院があつて、これに相對して瀟洒な洋館が御座います、ミス、アズバン、ミス、ハサウエルが監督して居られる女學生寮でブラックマホームといふのがそれです。

　この三四年の間に前の永樂病院が建てられ、盲學校が開かれ、それにつれてはあたりの長屋も空屋なく人が住むやうになりましたから、今は餘程賑やかになつた方ですが、それでも此所は高田老松町の裏通りで町の喧騷と全く離れて居りますから、そのあたりの空氣が何となく靜かに、そして又清い天地のやうに思はれます。

　私は或る日――冬には珍らしく暖かな日でしたが――このホームを訪ねました、一昨々年でしたか新たに設立せられたと云ふ其所の附屬美登里幼稚園を參觀る爲めにでした。生垣のまばらなこの庭の一隅に設けられたさゝやかな建物がそれで、うち見た所何一つ無駄に置かれたと思ふものがありませんでした。玄關の内土間は幼ない人々が雨の日の唯一つの遊び場所でせう、敎室といふは三間と四間半の一つの部屋の間を幕で仕切つて少さな組と中の組と、大きな組とこの三組を代り交りに二組づゝをこの敎室で遊ばせ他の何れかの一組は庭にしつらはれたブランコや游働圓木がその日その日に樂しい日課の一つです。

　美登里幼稚園では貧民の子女を慈善的に敎養するのが目的で、主に音羽のあたりから入園兒を集めるのだそうですが中にはなかなか遠方から來て居る者もあります、三十名の定員はいつも越して今は三十七名の兒童數です、この幼ない人々を相手に三名の擔任の先生は日もこれ足らぬ忙がしさで

「先生！水を飮んでもよございますか」

「先生！あさちやんが泣いてますよ先生！先生！」

手工に餘念のない一組を靜かにそとぬけて、先生

は、庭に泣いて居るあきちやんをなだめ、水を欲しがる兒を訓しへられるのでした。

「先生！出來ました」

「先生お糊がなくなりました、」

「先生四郎ちやんはあんなに眞黑にしてますよ、」

「お手てが穢ないんだ、おてゝがあんなに黑いんですもの、先生！先生！……」

先生は落ついた眼なざして笑みつゝ

「オヤ皆さん立派に出來ましたこと、クリスマスにはこれを奇麗に飾りませうね……」

と、幼ない人々の眼はかゞやいた、

「クリスマスは明日ですか？先生！」

「イーエ明日の明日、もう二つ寢んねしてからです

「嬉しいな、嬉しいな」紺飛白のちやん／＼こを着た、眼のさとい男の子は小躍りして喜ぶのです。

幕を境界の隣の級では、紅白の恩物紙を輪につないで、クリスマスの飾りに用ふるとて――紅葉の手がいそ／＼と働く。

私はじつと參觀て居りますうちに、其の群れに入つて、その美しい仕事が手傳いたくなりました、この天使のやうな幼ない人々を貧しい人の子と呼ぶのは、如何ばかり淋しい人の世の言葉かと恐ろしい心地が致しました。

「御行儀のいゝ方に出來たのを集めてもらいませう」

先生のこの聲が聞こえると、喃々と談笑しつゝ、將、机を叩きつゝ、足をゆり動かしつゝありし天使の群れは、ハタと音を靜め、口を閉いで彼の紅葉の手を膝の上におきて、內裏雛然と椅子に整座したる、その時、先生の御顏には和樂の微笑が見えました。

彼れを生みし母に非らずとも、彼れの褓育を以つて任ずる師に非らずとも誰れかこの美感に接して、純潔なる愛の尊さをおもはぬものがありませうか、私は、この板壁と幕とを以つて圍まれた方丈の一小天地が、小數の人々の努力に依りて、如何に尊き重き務めが日々に果されつゝあるかを思ひました。

やがて、ベルの音に導かれて遊歩場に出た幼ない人々は、先生の左右を取り圍んだり、初めて見た私の側にも集り來つて兩手を取つて、クリスマスの樂しいお話などをもちかけるのでした。

××先生……實は私と同窓の人は――にこやかにほゝえみながら、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「ほんとに、人をなつかしがるんですよ、私の前に居た或る幼稚園、それは主に中流以上と云はれて居る家庭の子女の集りですが其所では之れ程に先生といふものを懐かしまなかつた樣です。此所に來る子供は、どちらかと云へば兩親とも忙かしい毎日の稼業に追はれて家では子供の世話を見てやることの出來ないものばかり、その上玩具一つも、子供が望むがまゝに買つてやるわけには行きかねますから、自然に子供は家の厄介ものに扱はれる方ですが、幼稚園へ來ると、兎に角かうして心からの同情者があり、自分の友達になつて呉れる者があるものですから、子供から云はせると私共は毎日の彼等の命です、……自分からこんな事を云ふと可笑しいんですけど、ほんとにさうして居りますと、他の何物をも捨てゝ、この尊い課業を喜んで致されます、御覧の通り設備も何も出來て居りませんけど、……天眞な子供には暖かい日光と、そして保護する人とあれば、いくらでも遊ばせる事が出來ます、」と

私はこの言葉を聞いた時ふと此頃他の多くの友達から聞く多くの話題を思ひ出されました。それはこうです「學校を卒業てから家庭の些事に追はれることは世間の人と同じ樣に忙がしい、けれども只其事にのみ日を送るのは何となく物たりない、何か仕事はないでせうか、婦人に適した仕事はないでせうか」と十人の内九人は多くこの言葉を繰返して、所謂寳の持ち腐りを喞つ人ではありますまいか、私はその人々と共に先づこの幼稚園を參觀たいと思ひました、私共は毎日手を拱いて神の奇蹟の來らんことを待ち、眼をふさいで安逸な仕事を求めて居るのではありますまいか。

こうして見て居りますと、綿服にセルの袴を着けた友の姿が限りなく神々しく、そして尊い務めに在る重い任務をもつた人に見えるので御座います。

やがて先生は、二度のベルを鳴らしつゝ子供を呼び集めて、次の課業にうつられました、私は辭して此所を出ますと、ブランコに乘つて居つた女の子が走つて來て私に對つて

「先生さやうなら」「………」と幾度も〱お辭儀をするのでした、うち捨てられてあつた庭の一隅の空地に、彼のさゝやかな建物が設けられて、茲に尊い仕事が開かれてから彼等は貧しい淋しい家の子でなく、和樂に樂しい神の子の幸を知る人となつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣　告

院長診察（月、水、木、金、午前
入院診斷後應需

松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話本局 八八八（病院用）
八九八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二
御茶水橋附近

院長 醫學士高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱
從停車場半里

電チガサキ二番

南湖院

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

National Committee

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. T. Inouye, Treasurer
Miss Michi Kawai, Member World's Committee And World's Student Christian Federation

Resident Members
Miss A. B. West
Miss Sumi Miyagawa,
Miss Hama Hirano
Mrs. Koharu Nakajima
Miss Uta Suzuki
Miss Sarah Ellis
Miss Matsu Okonogi.
Mrs. A. M. Fisher
Mrs. K. Araki, Osaka
Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss M.F. Denton, Kyoto
Miss Wynne-Willson, Nagoya.
Miss M. Brownlow, Hakodate.

Non-Resident Members
Miss K. Tristram, Osaka
Miss Worthington, Kure.

Miss A. C. Macdonald, General Secretary
Miss Margaret L. Matthew, Tokyo Secretary
Miss G. R. Wataney, Tokyo Secretary
Headquarters 41 Sanbancho, Kojimachi, Tokyo.
Miss Matsu Okonogi, Editor.

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五拾錢	金壹圓

廣告		
一頁	金六圓	
半頁	金三圓五拾錢	
半段	金貳圓	
一行	金貳拾錢	

明治四十四年十二月廿八日印刷
明治四十五年一月一日發行

發行兼編輯人 東京市麴町區三番町四十一番地 エー、シー、マクドナルド
印刷人 東京市神田區美土代町二丁目一番地 島連太郎
印刷所 東京市神田區美土代町二丁目一番地 三秀舍

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ジョン・バンヤン作　松本雲舟譯

小説 **聖戰**

解題及題詩

菊判クロス　三百九十頁
裝釘美麗　寫眞版卷頭

定價壹圓拾錢　郵税拾貳錢　東京市内四錢

天路歷程の姉妹編で御座います　クリスチャンの御婦人方の新年の讀み物として、此書が一番で御座います。

ウッド・アラン女史原著　布施とよせ著

少女の情育

定價參拾五錢
郵税四錢

靑春期に近づいた女子には、是非、生殖に關する智識を與へねばならぬことは、現今教育家が一般に唱へてゐるところであります。然し是を如何なる方法にて知らしむ可きかに就ては多くの困難があるのです。本書は性慾科學に精通したアラン女史の名著でありまして、此問題を少女に教ふる爲に出來た本であります。此本を十三四歳から十七八歳の少女に讀ませる事は、最も必要であります。そして、これは、最も適切な、そして、最も危險なき方法なのであります。

發兌

東京京橋尾張町
振替東京五五五三
警醒社書店

東京本郷
春木町
同支店

明治四十五年一月一日納本發行(毎月一回一日發行)

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

YOUNG WOMEN OF JAPAN.

Meiji no Joshi

Volume. IX *January 1912.* *No. 1*

Thoughts of First Importance for the New Year. Miss Miyo Kobashi

St. Augustine and His Mother. Miss Matsu Okonogi.

"Consider Now Thy Creator in the Days of Thy Youth." Miss Michi Kawai.

The Rights of Women in Japanese Law. Dr. Sōmei Uzawa.

A Caution About Bible Study. Mr. En Kashiwai.

The New Life. Miss A. C. Macdonald.

The Parting of the Ways. Harold Begbie, Trans. by Fūkō.

The Work of the Midori Kindergarten. Miss Misao Nishina.

Association Notes

National Y.W.C.A., Tokyo Y.W.C.A., Hostel Notes, Wilmina Girls' School. Tokushima. Koishikawa Bible School.

The Official Organ of the National Committee of Young Women's Christian Associations of Japan

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA